

施設紹介

日本カンタム・デザイン電子物性計測室の設立と運用

大学院工学研究科 電子工学専攻 齊藤 伸

ssaito@ecei.tohoku.ac.jp

工学部電子情報システム・応物系 2 号館地下 1 階に民間企業の社名を冠した産学協働実験室を設立致しましたので、ご紹介申し上げます。

工学部電気情報物理工学科では、東日本大震災後、安全性の向上や建物スペースの有効活用、共同研究の活性化等への効果を期待し学科や研究室の垣根を越えた取り組みとして、共通性の高い最先端の物性評価装置を低層階の共通実験室へ集約して参りました。さらに文部科学省 先端研究基盤共用促進事業（新たな共用システム導入支援プログラム）の支援を得て、東北大学研究推進・支援機構テクニカルサポートセンター（TSC）

「設備・機器利用システム」と連携した結果、空き時間には学内外の研究者が装置を活用できる共用体制を確立しました。装置の共用は最先端評価装置の高価なランニングコストの負担軽減や装置故障時の学内での融通に役立つのみならず、研究者同志の交流の機会となることから、新たな研究アイデアが生み出される土壌をつくるという大きな意義があると考えております。今後は益々開かれた学内・産学協働の研究空間を醸成してゆきます。

この取り組みの一環として平成 31 年 3 月 20 日に、工学研究科と日本カンタム・デザイン社は組織的連携協定を締結しました。本誌ではこれを機に設立された「日本カンタム・デザイン電子物性計測室」を紹介申し上げます。この計測室には電子工学専攻と応用物理学専攻が所有する同社装置のうち、磁性体やスピントロニクス研究に用いられる磁気特性測定装置ならびに、熱伝導率や電気抵抗など様々な物理特性を測定できる装置など計 6 台を配置いたしました。同室は東北大学で初めて設立された民間企業の社名を冠した実

験室であり、民間企業との産学協働の新しい形態を具現化したものです。現在、同社の技術サポートを受け、年 2 回程度、技術セミナーおよび新人対象のオペレーショントレーニングを開催しております。学内の同社装置の管理教職員皆様におかれましてはオペレ・セミナーのご要望等をお受け致しますので、お気軽に連絡をお寄せ下さい。



日本カンタム・デザイン電子物性計測室



設置された 6 台の同社の計測装置